

# つる

## 都留市議会だより

### 第48回 都留市体育祭り



議長、副議長就任あいさつ 他…2  
市長所信……………3  
常任委員会委員構成 他……………4

一般質問……………5～14  
委員会の審査内容と結果 他…15  
議会日誌 他……………16

# 議長・副議長就任あいさつ



副議長 小澤 眞



議長 武藤 朝雄

このたび6月都留市議会定例会におきまして、議員各位のご推挙並びにご支持をいただき、議長並びに副議長に就任いたしました。大変光栄でありますとともに、責務の重さに身が引き締まる思いであります。

桃栗三年柿八年、何事も成就するまでには相応の年月がかかりますが、都留市立病院の産科分娩の再開、「道の駅つる」のオープン、「中津森防災ヘリ・ドクターヘリ場外離着陸場」の完成など、堀内市長がこれまで積極的に展開してきた施策が実を結んだものであり、これらは地方自治において求められる、自立した自治体経営と実情に応じた地域のまちづくりに繋がっていくものだと確信しております。

こうした中、私たち議員は都留市議会基本条例を遵守しながら、公平・公正な議会運営に努め、これまで築いてまいりました都留市議会の良き伝統を守りながらも、より時代に合った形に成熟させることを目指し、議員一人ひとりが市民と議会の架け橋となつて皆様の声をしっかりと行政に届けるよう、最善の努力を尽くしてまいりたいと考えております。

今後とも、市民の皆様方の更なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

## 各会議等における議員の欠席日数状況報告

(H28.4月～6月)

|           | 小林 健太 | 日向 美徳 | 天野 利夫 | 奥秋 保 | 山本 美正 | 小澤 眞 | 板倉 保秋 | 藤江喜美子 | 藤本 明久 | 鈴木 孝昌 | 谷垣 喜一 | 武藤 朝雄 | 国田 正己 | 小俣 義之 | 小俣 武 | 小林 歳男 |
|-----------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| 本 会 議     | —     | —     | —     | —    | —     | —    | —     | —     | —     | —     | —     | —     | —     | —     | —    | —     |
| 常 任 委 員 会 | —     | —     | —     | —    | —     | —    | —     | —     | —     | —     | —     | —     | —     | —     | —    | —     |
| 特 別 委 員 会 | —     | —     | —     | —    | —     | —    | —     | —     | —     | —     | —     | —     | —     | —     | —    | —     |
| 全 員 協 議 会 | —     | —     | —     | —    | —     | —    | —     | —     | —     | —     | —     | —     | —     | —     | —    | 1     |
| 議 員 研 修   | —     | —     | —     | —    | —     | —    | —     | —     | —     | —     | —     | —     | —     | —     | —    | —     |

## 次期定例会及び 請願提出について

9月定例会開催予定日

●8月31日(水)

請願提出締切予定日

●8月29日(月)

平成28年6月定例会

# 市長の所信表明

おもな事業内容

「ひと集い」学びあふれる生涯きらめきのまち つる「実現に向けて」



中津森防災ヘリドクターヘリ場外離着陸場完成式

## ○都留市立病院における産科分娩の再開

平成19年度末に休止となった分娩が、平成30年度より再開予定。東部地域での唯一の分娩施設として万全の体制をもって再開できるように、院内に「産科分娩再開準備委員会」を設置し、老朽化した医療機器等の更新、必要な施設の改修及び助産師をはじめとした医療スタッフの確保などについての検討・協議を開始し、準備を進めています。

## ○「妊産婦に対する救急車両の出場に関する覚書」の調印

妊産婦が急きょ出産を余儀なくされた場合に

## ○生涯活躍のまち・つる事業

おける母体の弛緩出血や新生児の低体温など、母子の生命に直接かわる事態に対し、救急車両等により山梨赤十字病院の医師を直接現場に搬送することで、その場での迅速な処置が可能となる救急医療体制を整備しました。

元気な高齢者を地域に呼び込むことで、地域全体の総合力を向上させることを目標とする事業。これまでの取組みが先導的であるとの評価を受け、全国7自治体の「支援自治体」の一つに選ばれました。

3月に策定した基本計画では、高齢者の「からだ」「おかね」「こころ」の3つの安心を担保することで、「いつまでも住み続けたいまち」の実現に向けて地域を挙げて取り組むことにより、市民の安心度と満足度を高め、コミュニティの再生など次代に向けた更なる好循環による地域発展を目指します。

## ○「リニアと翔る都留ロードレース大会」開催

市民スポーツの振興、健康寿命の延伸及び地域の活性化を目的として11月20日に開催予定。今回は「道の駅 つる」のオープン記念と銘打って開催し、道の駅のPR、集客効果なども期待していますが、来年度以降も継続していきます。

ます。

## ○中津森防災ヘリドクターヘリ場外離着陸場

都留市で初の本格的な専用ヘリポート。ドクターヘリによる県立中央病院等への移送に係る時間の短縮や災害時における傷病者や医療物資等の搬送拠点となり、都留市の救急医療体制や防災力の向上に大きく貢献するものであります。

## ○都留文科大学の新学科設置

国際バカロレア教育に対応したカリキュラムを開設する「国際教育学科」を平成29年4月に設置予定。この教育プログラムは探究型・課題解決型の授業を行い、修了後は世界中の多くの大学の入学資格として認められているものです。また、都留文科大学が将来にわたって「魅力あふれる大学」であり続けるための更なるステップになると期待しています。

## ○健康科学大学

山梨県内の私立大学では初の看護学部として開設。地域とともに成長できる大学を目指し、今後大学の施設・人材・資材を活用した地域貢献事業を実施していくとのことです。

また、都留市との「災害時における相互協力に関する協定」の締結式も予定しています。

## ○公共施設等総合管理計画

高度経済成長長期に集中的に建設された公共施設の老朽化が一斉に進み、これらを総合的かつ計画的に管理していくために策定。今後も公共施設等の有効活用やコスト削減策を検討するとともに、計画の進捗管理を徹底し、長期的な視点に立ち管理していきます。

また、維持管理に充当する財源を生み出すため「行財政改革推進計画」を策定します。

常任委員会等委員構成

平成28年6月9日就任

| 委員会名            |                                                                                              | 委員名                                                |                                                   |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| 総務産業建設<br>常任委員会 | 〔総務部（総務課 企画課 財務課）、産業建設部（産業課 建設課 上下水道課）、会計課、消防本部、議会事務局及び農業委員会の所管に関する事項並びにその他の常任委員会の所管に属さない事項〕 | 委員長<br>鈴木孝昌                                        | 副委員長<br>奥秋保                                       |
|                 |                                                                                              | 委員<br>小林歳男<br>小俣義之<br>武藤朝雄<br>藤江喜美子<br>小澤眞<br>日向美徳 | 委員<br>小俣武<br>国田正己<br>藤本明久<br>板倉保秋<br>山本美正<br>小林健太 |
| 社会厚生<br>常任委員会   | 〔市民部（市民課 税務課 地域環境課）、福祉保健部（福祉課 長寿介護課 健康子育て課）、都留市立病院・介護老人保健施設「つる」及び教育委員会の所管に関する事項〕             | 委員長<br>天野利夫                                        | 副委員長<br>谷垣喜一                                      |
|                 |                                                                                              | 委員<br>小俣武<br>国田正己<br>藤本明久<br>板倉保秋<br>山本美正<br>小林健太  | 委員<br>小俣武<br>国田正己<br>藤本明久<br>板倉保秋<br>山本美正<br>小林健太 |
| 議会<br>運営委員会     | 〔議事運営及び議長の諮問に関する事項〕                                                                          | 委員長<br>小林歳男                                        | 副委員長<br>山本美正                                      |
|                 |                                                                                              | 委員<br>小俣武<br>小俣義之<br>藤江喜美子<br>板倉保秋<br>天野利夫         | 委員<br>小俣武<br>小俣義之<br>藤江喜美子<br>板倉保秋<br>天野利夫        |

※総務産業建設常任委員長については、平成28年6月24日就任

特別委員会委員構成

|                                                                                                                                |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 平成27年6月定例会において設置した「議会改革特別委員会」について、議会全般にわたる諸課題を議員全員で協議する必要があるため、委員定数を16名とし、議員全員をもつて構成することになりました。                                |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 議会改革<br>特別委員会                                                                                                                  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 委員長 小林健太<br>副委員長 鈴木孝昌<br>委員 小俣武<br>小俣義之<br>国田正己<br>武藤朝雄<br>谷垣喜一<br>藤本明久<br>藤江喜美子<br>板倉保秋<br>小澤眞<br>山本美正<br>奥秋保<br>天野利夫<br>日向美徳 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

6月定例会議決結果

（議員別賛否を含む）

| 区<br>分           | 議員名<br>議案等名                              | 議決<br>結果 | 小林 | 日向 | 天野 | 奥秋 | 山本 | 小澤 | 板倉 | 藤江喜美子 | 藤本 | 鈴木 | 谷垣 | 武藤 | 国田 | 小俣 | 小俣 | 小林 |
|------------------|------------------------------------------|----------|----|----|----|----|----|----|----|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|
|                  |                                          |          | 健太 | 美徳 | 利夫 | 保  | 美正 | 眞  | 保秋 |       | 明久 | 孝昌 | 喜一 | 朝雄 | 正己 | 義之 | 武  | 歳男 |
| 市<br>長<br>提<br>出 | 承第2号 専決処分の承認を求める件<br>(都留市国民健康保険税条例中改正の件) | 承認       | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○     | ○  | ○  | ○  | ○  | —  | ○  | ○  | ○  |
|                  | 承第3号 専決処分の承認を求める件<br>(都留市税条例等中改正の件)      | 承認       | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○     | ○  | ○  | ○  | ○  | —  | ○  | ○  | ○  |
|                  | 議第43号 都留市地域公共交通会議<br>設置条例中改正の件           | 可決       | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○     | ○  | ○  | ○  | ○  | —  | ○  | ○  | ○  |
|                  | 議第44号 都留市看護系大学誘致事<br>業基金条例廃止の件           | 可決       | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○     | ○  | ○  | ○  | ○  | —  | ○  | ○  | ○  |
|                  | 議第45号 指定管理者の指定の件<br>(道の駅つる)              | 可決       | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○     | ○  | ○  | ○  | ○  | —  | ○  | ○  | ○  |
|                  | 議第46号 協定締結の件(桂川流域下<br>水道維持管理費負担金に関する協定)  | 可決       | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○     | ○  | ○  | ○  | ○  | —  | ○  | ○  | ○  |
|                  | 議第47号 平成28年度都留市一般会<br>計補正予算(第1号)         | 可決       | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○     | ○  | ○  | ○  | ○  | —  | ○  | ○  | ○  |
|                  | 議第48号 平成28年度都留市国民健<br>康保険事業特別会計補正予算(第1号) | 可決       | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○     | ○  | ○  | ○  | ○  | —  | ○  | ○  | ○  |
|                  | 議第49号 契約締結の件(東部簡易水<br>道第一配水池築造工事)        | 可決       | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○     | ○  | ○  | ○  | ○  | —  | ○  | ○  | ○  |
|                  | 議第50号 固定資産評価審査委員会<br>委員の選任について同意を求める件    | 同意       | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○     | ○  | ○  | ○  | ○  | —  | ○  | ○  | ○  |
|                  | 議第51号 固定資産評価員の選任に<br>ついて同意を求める件          | 同意       | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○     | ○  | ○  | ○  | ○  | —  | ○  | ○  | ○  |
|                  | 議第52号 監査委員の選任について<br>同意を求める件             | 同意       | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○     | ○  | ○  | ○  | —  | ○  | —  | ○  | ○  |

○は賛成 ×は反対 ※議長は採決に加わりません。

## 産科分娩が再開される市立病院の運営を問う



鈴木 孝昌 議員

**問** 利用者からはどのような意見や要望があるか。また、その対策をどのように講じ、運営面に反映しているか。

**答** 施設の改善や、待ち時間の負担軽減などの要望もあるが、患者に対する接遇や問い合わせなどへの対応についての意見が多い。

改善策については院内で協議・検討し、病院運営に反映する。また、医師・看護師など職員の接遇については、本年3月に全職員を対象とした接遇研修を実施した。今後は、患者アンケートを実施し、研修の成果

を検証し職員の資質向上に努めている。

**問** 小児科受診者の増加が予想されるが、対応する施設の整備は。

**答** キッズルームやキッズスペースと言われる施設を備えている病院もあり、当院への設置の要望もあった。

しかし、それには徹底した衛生管理や事故防止の観点から、専任スタッフの配置が必要となり、それらの確保が困難であるため施設整備には至っていない。

妊産婦や子どもが安心して受診できる環境の整備は重要であるので、今後も調査・検討していく。

## 空家対策への都留市の取り組みを問う

**問** 空家対策の進捗状況は。

**答** 県内における空家等対策の先駆けとして「都留市空家等対策基本計画」の策定、「都留市空家等対策の推進に関する条例」の施行等の事業を推進している。

具体的には、地域環境課に「空家等相談窓口」を設置し、相談への対応を一本化した。また、統合型地理情報システムに市内空家等に関する

データが搭載され、空家等に関する正確な情報共有と事業連携が実現、相談内容に応じて的確でスピーディーに対応できる体制を構築した。

**問** 空家バンク制度への登録数と成約数は。この制度が活性化するための対策は。

**答** 現在の登録数は33件、これまでの成約数は18件である。空家バンク制度とは、売却や賃貸を希望する市内空家の所有者が登録すると、ホームページ等を通して利用希望者に情報が提供されるサービスである。

今後の活性化に向けた対策として、「空き家リフォーム事業補助」制度の一層の周知、移住希望者を対象とした「空き家マッチングツアー」などを計画しており、本市の活性化並びに移住・定住人口の増加に向け、空き家の有効活用を図る。

**問** 空き工場や空き事務所を活用した情報関連会社などの誘致の推進は。

**答** 市内にある空き店舗や工場を利用して開業する方に対し、建物の賃貸料を補助する「都留市空き店舗・空き工場活用促進事業補助金交付要綱」を制定し、市内の創業等の促進、地域産業の活性化を図る。この補助制度は、市内の空き店舗・工場の所有者が、「空き店舗・工場情報」に当該建物を登録し、市内で創業・開業を検討する方とマッチングさせるものである。

今後、地方に事業所を持つことでメリット等を享受できるといわれている情報系事業者等の利活用の促進を図るために、具体的な支援制度について検討していきたい。



相談窓口の地域環境課

### その他の質問事項

#### 障害保健福祉施策について

## 緊急輸送道路を問う



山本 美正 議員

結ぶ第一次緊急輸送道路は、中央自動車道、国道139号の2路線である。これらの道路と市役所、主要な防災拠点と相互に連絡する幹線的な国道、県道、市道である第二次緊急輸送道路は3路線あり、合計5路線が指定されている。

緊急時には原則一般車両は通行禁止とするが、状況によっては既定路線のみでは不十分な場合も想定される。

近年、大規模災害の発生直後に幹線道路である緊急輸送道路が機能を喪失する問題が取り上げられているが、本市でも同様な想定がされるため、緊急輸送道路の拡充は必要だと考える。

**問** 中央道の側道を緊急輸送道路として活用できるか。

**答** 狭隘部分の改修工事を順次行っているが、中央自動車道側道は、まだ狭隘箇所が多く、大型車の通行が確保できないため、緊急輸送道路としての活用は困難である。

**問** 側道を県道に昇格できるか。

**答** 大規模災害発生時の富士北麓地域を含めた広域的な避難道路、輸送道路等の幹線道路として、地域の産業・観光振興や住民にとっての生活道路としての機能を有することから、中央自動車道の側道整備は必要である。引き続き、中央自動車道側道を広域的な幹線道路へと位置付けるよう県に積極的に要望していく。

## 18歳選挙権の啓蒙は

**問** 18歳からなのはなぜか。

**答** 未来を創り担う10代の若者がより早くから社会の担い手としての意識を持ち、主体的に政治に関わっていくことが大切であること、世界191の国・地域のうち9割近くが選挙権年齢を18歳以上と定めていること、などが理由である。

**問** 教育機関との取り組み等あるか。

**答** 山梨県選挙管理委員会では、高等学校向けの出前授業の充実、高校3年生を対象とした選挙ガイドブックの作成・配布をした。さらに、投票促進のための校内放送の依頼、県内大学に対しては投票促進メールの配信依頼なども行っている。

本市では、実際の投票箱を使用することで、選挙への関心を高め、主権者として実感してもらえよう、市内の小中学校及び高等学校に、児童会・生徒会選挙用の投票箱の貸出しを行っている。



高校生のための選挙ガイドブック

**問** 緊急輸送道路とは何か。

**答** 非常事態に対応した交通の確保を目的とし、大規模災害発生時に避難・救助、物資の供給や諸施設の復旧等、広範囲な応急対策活動を広域的に実施するため、県が定めた重要な路線である。

**問** ライフラインとも言える緊急輸送道路は本市にどのくらい

**答** あり、現状で災害時に対応できるか。また、その拡充は必要か。

**答** 隣接都県との連携強化及び県の庁舎と主要都市等を相互に



すれ違い困難な中央道側道

## 「生涯活躍のまち・つる」事業への取り組みは



小俣 義之 議員

**問** 国から全国7自治体の支援自治体の一つに選ばれたが、評価された点は何か。

**答** 本市の描く「生涯活躍のまち・つる」に関しては、既存ストックや遊休市有地を活用していくこと、市内3大学と連携し、生涯活躍の機会創出を目指していること、

都心から近く東京圏在住者の移住が見込まれることなどが、評価された点であると考えている。

特に、それぞれ特色を持つ3大学との連携による「生涯活躍のまち」構想はあまり例もなく、国としては本市を「大学連携型生涯活躍のまち」の成功事例として期待していると聞いている。

**問** 「生涯活躍のまち・つる」を推進していく上での課題、市民への効果は。

**答** 移住による入居者の確保と介護人材不足の解消が、大きな課題だと考える。

移住による入居者の確保策については、東京駅八重洲口にある「生涯活躍のまち移住促進センター」に常設ブースを設け、移住希望者の第一的な窓口として機能させながら、各種移住セミナーや相談イベントへの出展を通して、移住希望者のリストづくりに努めている。また、各種メディアを通して、プロモーションビデオの放映などにより積極的に本市の魅力をPRしている。

介護人材不足の解消策としては、一地方自治体では解決し難いが、健康科学大学との連携による人材確保、ICT企業や介護ロボット関連事業者との連携も模索し、介護

人材育成機関等の誘致にも取り組んでいきたい。

また、高齢者の日常生活での悩みごとである「からだ」、「おかね」、「こころ」の3つの安心を担保することで、「いつまでも住み続けたいまち」を実現することによって、市民の安心度と満足度を高め、更なる地域発展を生み出していきたい。

## 「道の駅つる」事業の進捗状況を聞く

**問** 工事等の進捗状況とオープンに向けた取り組みの予定は。

**答** 平成27年度発注分の造成及び建築工事は5月に完了した。本年度予定している造成・建築・電気・機械設備工事は既に契約を締結し9月末に完成予定。また、外構工事及び太陽光発電設備設置工事も10月中旬までには完了する予定。

施設の運営等は、市が一部出資し設立された会社「株式会社せんねんの里つる」の会社設立登記が完了し、農産物を出荷する農家などで組織する出荷者組合も、6月28日に設立総会を開催予定。今後は、運営会社との業務委託

契約の締結、従業員向けのトレーニング等、お客様が楽しく快適に滞在できる環境を提供できる運営をめざし取り組んでいく。



工事が進む「道の駅つる」

## 本市の英語教育 及び部外活動 を聞く

小林 健太 議員



**問** 本市の英語技能検定における  
中学3年次3級、高校3年次  
準2級の取得率は。

**答** 文部科学省が行った「英語教  
育実施状況調査」では、本市  
3つの中学校を平均すると3級の  
取得率は18・5%である。また、  
都留興譲館高校で準2級以上の取  
得者は数名程度いるようだが正確  
な数字は把握していない。

**問** 「高校生生徒資格取得費補助金」  
の実績を聞く。また、それに

代わる制度はあるか。

**答** 「高校生生徒資格取得費補助金」  
は平成23度から平成27年度ま  
での5年間実施され、補助金額は  
201万4千975円であった。  
内訳は英語検定2級取得者が8名、  
漢字検定2級取得者が8名、その  
他工業系の危険物取扱者等の取得  
者が365名である。この制度は、  
桂高校、谷村工高の生徒確保を目  
的としていたが、両校の統合に伴  
い本年3月に廃止となった。

その後、都留興譲館高校から制  
度継続に対する強い要望があり、  
第6次長期総合計画の施策である  
「地場産業の支援」に照らし合わせ、  
就職機会の向上及び定住促進を目  
的に、市内在住の高校生等を対象  
とする「都留市高校生等就職支援  
資格取得費補助金」を創設した。

**問** 小・中学生対象の補助制度も  
必要だと考えるがいかがか。

**答** 都留文科大学附属小学校の教  
育課程特例校事業（英語特区）  
では、小学校6年時に英語検定4  
級程度の英語力を身に付けること  
を目指しており、客観的に評価し  
てもらえる検定に合格することは  
励みになる。

小・中学生を対象とした資格取  
得に対する補助金の制度は現在な  
いが、英語検定に限らず、漢字検定、

数学検定等を把握する中で、補助  
制度について検討していく。

**問** クラブチームや部活動所属の  
生徒の評価基準や方法を聞く。

**答** 評価とは教科について点数化  
を行うもので、どちらの活動  
も評価の対象ではない。しかし、  
その他の活動の部分で、部活動や  
クラブチームでの活動、ボランティ  
ア活動、生徒会活動などが調査書  
に記載される。どちらの活動も評  
価基準は同じである。

## 公園の整備への取組みは

**問** 昨年度設置した、わくわく広  
場の遊具に対する市民の反響  
はどうか。

**答** 月待ちの湯の指定管理者と  
なっている事業者等に対して  
行ったヒアリングによると、わく  
わく広場の遊具は3歳児から対  
象とした遊具であり、小さな子ど  
もでも遊べると好評である。

今後は、ワイド滑り台やターザ  
ンロープなどの、対象年齢が小学  
生以上の遊具の設置を検討してい  
る。他の公園の遊具との兼ね合い

も考慮し、子どもたちが安全に楽  
しめる遊具の選定と公園の整備に  
努めていく。



新しいシステム遊具

その他の質問事項  
第6回創業支援計画の事業成  
果、進捗状況は